

市民の願いが実現しました

妊婦健診助成が14回に拡大

これまで5回で3万円だった補助が、14回で9万5千円に増えます。

失業者114人を市が緊急雇用

市道の除草やごみ処理、水戸二中敷地内の発掘調査など、13事業で114人を市が緊急に採用します。

臨時保育士の給与15万円に改善

市立保育所で働く臨時保育士(月額13万5千円)99人を、4月から嘱託職員(月額15万円)に処遇改善しました。

学校の耐震化に向け耐震設計11校で実施

小学校11校の耐震設計を実施。その他、耐震診断は小学校15校、中学校6校、幼稚園7園で行われます。

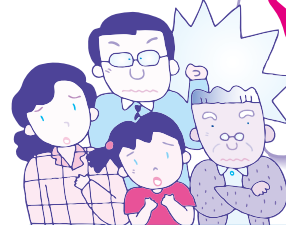
水戸平和記念館設置

銀杏坂市民ギャラリーを水戸空襲などを伝える常設記念館として、8月1日に開館。

75歳以上の人間ドック半額補助を160人分

人間ドック1人39,900円のうち、市が21,000円を補助。

くらしが大変なのに 国保・介護・下水で1世帯1万9千円値上げ



65歳以上の夫婦2人 世帯の場合 年間19,236円の負担増(試算)		
	値上げ率	平均値上げ額
国保税	4.9%	1世帯平均7,168円
介護保険料	8.2%	1人平均3,840円×2人
下水道料金	13.2%	1世帯平均4,388円

中庭次男議員は3月議会の代表質問で、景気の悪化で収入が減り、失業者が増大するなかで、値上げは中止すべきだと主張しました。加藤浩一市長は財政が困難だとして値上げは実施すると答弁しました。



国保税などの値上げ中止を市に申し入れる共産党水戸市議団と大内県議など(1月22日)

水戸市は4月から国保税、介護保険料、下水道料金で総額8億5千万円の大値上げを実施。3月議会で、値上げ中止を主張したのは日本共産党だけで、自民党、公明党、民主党、社民党、無所属の議員は賛成しました。

日本共産党が値上げ中止を要求

国保税は2年連続値上げ

国保税は、昨年の値上げを含めると10%の値上げになります。下水道料金も3年前に大幅値上げしたばかりです。

雇用・経営守る緊急対策を

中庭議員は、くらし・雇用・経営を守る緊急対策本部を市に設置するとともに、失業者を臨時職員として採用するよう求めました。

また、中小零細企業にセーフティネット融資保証を積極的に適用することや、自治金融の適用基準の緩和を求めました。

加藤市長は「景気の動向を見て対応する」と答弁しました。また、中庭議員は、すべての国保加入世帯に保険証を交付し、無保険者をなくすよう求めました。



水戸駅北口で街頭労働相談に取り組む共産党水戸市議団など(2月20日)

下水道工事が大幅な遅れ！68億円の繰り越し

水戸市は今年3月末までに公共下水道の普及率74%の達成をめざしましたが、工事が大幅に遅れ、現在の普及率は63%、68億円も工事費を繰り越しました。

とくに渡里・石川・河和田・平須・酒門住吉地区では工事が間に合わず、やむを得ず合併浄化槽を設置する家庭もでてきます。

市立競技場(小吹町)工事費増やし総額42億2千万円

改築中の陸上競技場は、当初の工事費25億8千万円が、積算ミスや建築資材費の上乗せで何度も工事費を増やし、駐車場やトラック改修などを含めると、総額42億2千万円になる見込み。

市長は財政が厳しいと言いつつ破格の特例扱いです。



二転、三転の大工町再開発39億円も税金投入

ホテルオークラや、マンションなどの建設に39億円も税金投入する大工町再開発は、資金不足など事業のめどが立たずストップしたままです。中庭議員は「はっきり中止の決断を」と求めましたが、市長は開発に固執。今年度も約8千万円の予算を計上しました。

困りごと何でもご相談ください



江尻 かな
☎(243) 6888



中庭 次男
☎(251) 3252



田中まさき
☎(247) 3714

日本共産党水戸市議団ニュース